

令和6年度 学校経営方針

谷村第一小学校

I 学校教育目標

1 学校経営方針

児童一人一人は限りない可能性をもって生きている。私たち教師はその可能性をさらに伸ばさなければならない。夢を育み、自立して生きていく力を培うことをはじめ、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成を目指し、且つ変化の激しい社会に柔軟に対応できる力を育成するために全職員が互いに研鑽を深め、教育愛と使命感に徹して教育活動に専念していかなくてはならない。学力向上においては、「**わかる授業の創造**」及び主体的・対話的・深い学びの実現に向け、授業改善への意識を高くもち、児童の「学ぶ」態度の育成・向上を常に目指していく。また、丁寧な児童理解のもと、個々の成長に寄り添ったきめ細かな指導の徹底を図る。

教職員のこうした努力の過程で、「生きる力を育み、未来に生きる児童の育成」が実現できるものとする。

- (1) 学習や生活の基盤となる楽しい学級づくりに努める。
- (2) 身に付けさせたい資質・能力を明確にするとともに、学年・成長に応じた基礎基本の定着を図る。
- (3) 主体的・対話的・深い学びの実現を目指した授業改善を進める。
- (4) 教育環境を整備し、学習活動におけるICT機器の利活用を積極的に進めながら、メディアリテラシー（情報活用能力）の育成を目指す。
- (5) 基本的な生活習慣を身に付け、集団生活における規範意識を育てる。
- (6) 個に応じた指導、特別支援教育体制の充実を図る。
- (7) 豊かな人間性を育み、心の安定を図る生徒指導に努める。
- (8) 体力・気力の増進に加え、自身の健康を守る健康安全意識の向上を図る。
- (9) 家庭や地域との連携・地域の教育力を活用し開かれた学校づくりを推進する。
- (10) 児童の実態に即した家庭学習の一層の推進・充実を図る。

2 教育目標

「生きる力」を育み、未来に生きる児童の育成

具体目標

- ・ **や**さしく思いやりのある子ども
- ・ **い**き生きと主体的に学ぶ子ども
- ・ **ち**から一杯運動し 丈夫な体をつくる子ども
- ・ **の**びのびと自分らしい生き方について考える子ども
- ・ **こ**ころ広く集団の中で仲良く助け合える子ども

3 本年度の重点 ()内は具体目標「やいちのこ」との関連

「安全・安心・安定」を目指した教育環境づくり・児童の育成

- ◆ (ヤ) 思いやりのある子どもく心の教育の充実>
 - * 確かな判断力と規範意識の育成
 - * 特別の教科道徳の時間の工夫と充実
 - * 新たな活動様式における豊かな体験活動の工夫及び推進
 - * 家庭や地域と連携した活動の推進
 - ・ 声かけ、あいさつ運動の日常的な指導の工夫と徹底
 - ・ 情報モラルの指導
 - ・ 読書の習慣化と充実

- ◆ (い) 主体的に学ぶ子どもく確かな学力の定着>
 - * 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価の実施
 - ・ 論理的表現や体験的・問題解決的な学習の重視
 - ・ 図書館や情報機器を有効活用した教育の推進（プログラミング教育の充実）
 - * 「やまなしスタンダード」の定着…「7つの視点」の確実な実施
 - * 「見通し・振り返り」学習を取り入れた授業づくり「谷一授業」の徹底
 - * 「外国語・外国語活動」の授業の工夫と充実
 - * 個に応じた指導の工夫（きめ細かな指導・わかる授業の展開）
 - * **基礎・基本の定着**
 - ・ 各種学力テストの分析結果の共有化と、課題解決への取り組み
 - ・ 放課後指導（SAT活動・フォローアップ事業等）を活用した基礎・基本の定着
 - ・ 朝学習，朝（夕）読書の充実（開始時間の徹底と時間の確保と充実）
 - ・ 家庭学習の習慣化（「家庭学習の手引き」「やいちのこウィーク」を通し家庭と連携）

- ◆ (ち) 丈夫な体をつくる子どもく健康な心身の育成>
 - * 心身の健康保持増進と体力の向上
 - ・ 一校一実践運動の充実
 - ・ 運動にチャレンジする環境づくり（「やいちのこタイム」の充実）
 - ・ 適切できめ細かな保健指導，食教育・食育指導の充実
 - ・ 自身の健康維持への意識化と新しい生活様式における望ましい生活習慣の定着

- ◆ (の) 自分らしい生き方について考える子どもく一人一人を大切にした教育>
 - * よさを認め，心に寄り添う指導
 - * 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
 - * **職員間の情報共有に基づいた子どもの共通理解と連携した生徒指導**
 - * **問題行動の未然防止及び早期対応への組織的な支援体制・指導体制の確立**
 - ・ いじめ等各種アンケートによる問題把握
 - ・ 迅速な報告・連絡・相談
 - ・ 家庭・地域・関係機関との連携
 - * 教育活動全体を通じたキャリア教育の充実
 - ・ 「キャリア・パスポート」の充実と活用
 - ・ 人材の活用（「個性を育む事業」「いきいき人材派遣事業」等）
 - ・ 地域資源の活用（学校林，太陽光発電，げんきくん，市内諸施設及び人材等）
 - ・ 保幼小中高大の連携推進

- ◆ (こ) 仲良く助け合える子どもく人と関わり合う力の育成>
 - * 基本的な生活習慣の形成（工夫した児童会活動：全校・ブロック・学年）
 - * **心の居場所である学級づくり（自己肯定感，達成感，充実感，認め合える）**
 - * **特別活動の充実**
 - ・ 責任ある当番・係活動（工夫した活動→自主性）
 - ・ 工夫した異学年交流を通して望ましい態度，実践力を育成
 - ・ 自主，自治能力の育成とボランティア精神，実践力の涵養
 - * 安全安心な教育環境づくりと指導の充実→見通しをもった安定した生活